

そばにいるから、できることがある。

JP 日本郵政
HOLDINGS

株主通信

2019年4月1日から2019年9月30日まで

証券コード: 6178



日本郵便はグリーティング切手
「ぽすくまと仲間たち」を発行しました。

(発行日:2019年9月13日)

ぽすくまは、2012年に切手から生まれた日本郵便のキャラクターです。今回の切手には、ぽすくまだけでなく、その仲間たちも登場しています。

ぽすくま

©JAPAN POST Co., Ltd.

日本郵政株式会社

株主の皆さまへ

このたびは、かんぽ生命の契約乗換等に係る問題により、株主の皆さまをはじめ多くのお客さま、ステークホルダーの皆さまに、多大なるご迷惑とご心配をおかけしており、衷心より深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ございません。

現在、お客さまのご意向に沿わず不利益を生じさせている可能性のある契約について、法令違反や社内ルール違反がないか、募集状況等の調査を進めております。調査の結果、ご意向を確認できたお客さまに関しましては、ご意向に沿った契約内容への変更等により不利益の早期解消に努めており、ご迷惑をおかけしたお客さまへの謝罪と対応を優先して進めているところです。加えて過去5年間分の消滅契約を含む全てのご契約(約3千万件)についても、お客さまのご意向に沿った内容か、あらためてご確認させていただく調査も進めております。

その上で、既に講じている再発防止策を含め、今後示される特別調査委員会の報告・提言も踏まえ、グループ丸となって再発防止に取り組み、一日も早い信頼回復が実現できるよう尽力してまいります。

このたびの問題を受けて、「お客さま本位の業務運営」と「コンプライアンスの徹底」が日本郵政グループにおける最優先課題であるとあらためて強く認識しました。経営トップとして、これらの認識をグループ全体のあらゆるレベルに浸透させることに全力を尽くしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解いただき、日本郵政グループへのご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

日本郵政株式会社
取締役兼代表執行役社長

長門 正貢



かんぽ生命の契約乗換等に係る問題について

調査内容

本年6月下旬以降、既にご加入の契約を解約等し、新しい契約にご加入いただく形で保障内容を変更する契約乗換において、乗換前と乗換後の契約期間が重なり保障の重複が生じた事案等が判明いたしました。このため、7月31日、お客さまに不利益が発生した可能性が特定可能な類型(約18.3万件)について、特定事案調査として、直接、お電話やご訪問をさせていただくことにより調査を行うことを公表いたしました。加えて過去5年間分の消滅契約を含む全てのご契約(約3千万件)についても、お手紙等の書面によりお客さまのご意向に沿ったものであるかの確認を行うことも進めております。本件調査については、12月末に調査結果の報告を行う予定です。

特別調査委員会

7月24日、日本郵政グループから独立した中立・公正な第三者により構成された「特別調査委員会」を設置いたしました。特別調査委員会は、契約乗換等に係る問題に関して、かんぽ生命および日本郵便による事実確認の範囲および方法等の妥当性を検証するとともに、独自に事実関係および原因等について徹底した調査を行い、その結果等を踏まえて再発防止策等の提言等を検討し、調査報告書を作成いただくこととしております。

【委員長】 弁護士 伊藤鉄男 【委員】 弁護士 寺脇一峰、弁護士 早川真崇

当面の業務運営

ご契約調査の取り組みを優先するため、現在、郵便局・かんぽ生命支店からの積極的な営業は控えることとしております。通常どおりの営業の段階的な再開については、再開に向けた準備が整い次第、2020年1月を目途に実施する予定です。

なお、営業再開までの間においては、お客さま対応を優先しつつ、「お客さま本位」、「再発防止に向けた対策」、「商品知識の充実」についての研修等を実施し、再発防止策の浸透を徹底してまいります。

当面の再発防止策

今後、特別調査委員会から再発防止に向けた提言が示される予定ですが、現状を踏まえ、以下のような再発防止策を一部先行して実施しております。

主な再発防止策	ポイント
1 ご意向確認等、契約時のチェック態勢の強化	● 新契約をお引き受けするプロセスの様々な場面において、郵便局とかんぽ生命が重層的なチェックを行うことにより、お客さまのご意向に沿った契約となっていることを確認
2 条件付解約制度、契約転換制度の導入	● お客さまの不利益を未然に防ぐための制度的措置として順次導入
3 お客さま本位の業務運営に対する態勢整備等	● 「お客さま本位の募集態勢推進本部」を設置 ● お客さま本位の営業活動の徹底に向けた研修等の実施
4 営業目標の見直し	● 今年度は営業目標を設定しない ● 来年度は考え方も含め抜本的に見直し
5 高齢者への勧奨の停止	● 満70歳以上のお客さまへの勧奨停止(満期等でお客さまから加入のご意向がある場合は、ご家族の同意がある場合のみご提案)
6 社員の声の把握	● 営業・業務に関する内部通報窓口や社員の日頃の業務において困ったこと等の相談窓口を新設予定
7 グループ会社間の連携強化	● 内部監査、コンプライアンス、オペレーショナルリスク、お客さま満足推進といった経営課題に対応するグループの連絡会等を新設・充実予定

今後の取り組み

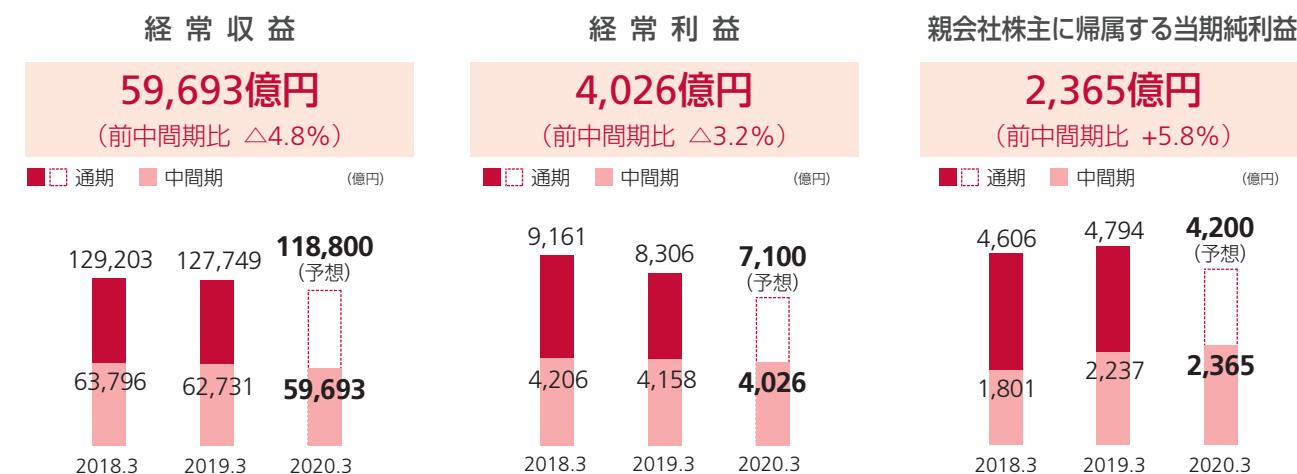
既に公表済みの再発防止策に加え、特別調査委員会の調査結果も踏まえた再発防止策に着実に取り組むとともに、お客さまの声を真摯に受け止め、真の「お客さま本位の業務運営」の徹底に郵政グループ一丸となって取り組んでまいります。

調査の進捗状況や取り組み状況につきましては、今後ご報告させていただきますので、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

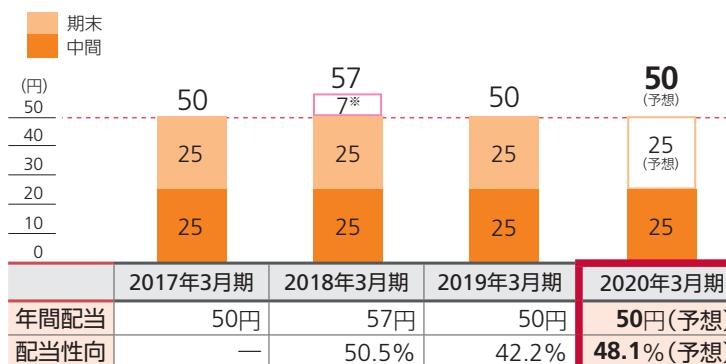
2020年3月期(中間)の業績について

- 日本郵政グループの経常収益は前中間期比3,038億円減の5兆9,693億円、経常利益は同132億円減の4,026億円、親会社株主に帰属する中間純利益は同128億円増の2,365億円となりました。
- 2020年3月期の通期連結業績は、経常収益は前期比7.0%減の11兆8,800億円、経常利益は同14.5%減の7,100億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同12.4%減の4,200億円を見込んでいます。

連結決算ハイライト



配当について



※ 2018年3月期は、特別配当7円(日本郵政グループ民営化10周年)を実施しております。

2020年3月期
1株当たり配当金 **50円**
(予想)

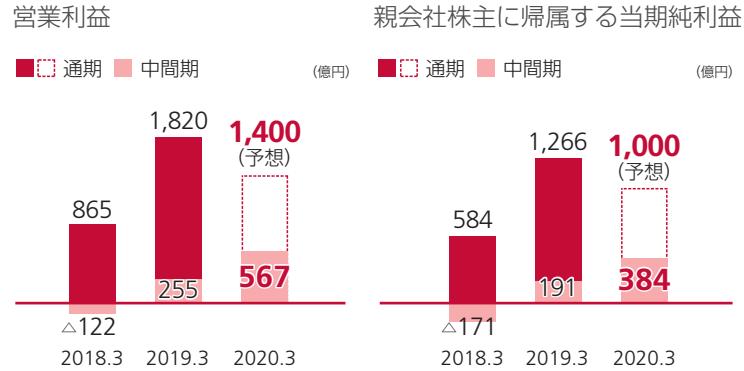
ポイント 2021年3月期まで、
年間配当50円以上を目安に
安定的な配当を目指します。

業績の概況



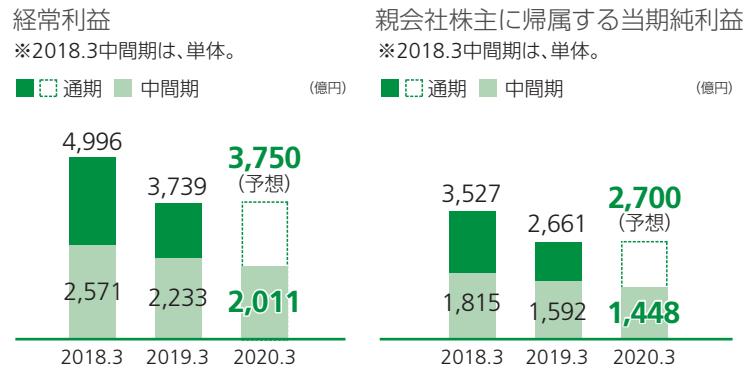
取り組みと概況

郵便・物流事業での荷物分野の収益拡大や郵便物の差出増の影響などもあり、前中間期と比較して、営業利益は312億円増加の567億円、親会社株主に帰属する中間純利益は193億円増加の384億円となりました。通期予想(親会社株主に帰属する当期純利益)に対する進捗率は38.4%となっています。



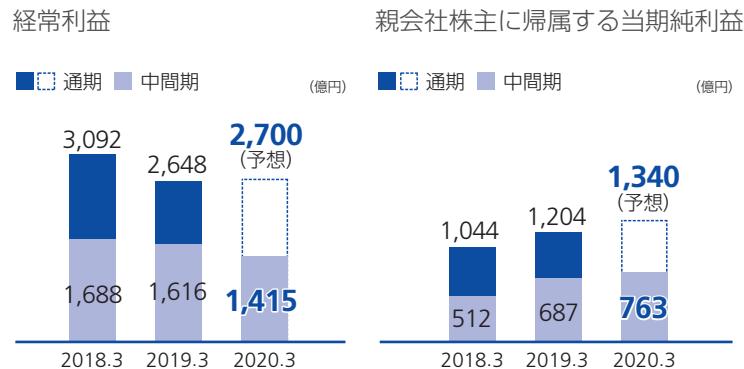
取り組みと概況

金利が引き続き低地で推移する厳しい経営環境の下、前中間期と比較して、経常利益は222億円減少の2,011億円、親会社株主に帰属する中間純利益は144億円減益の1,448億円となりました。通期予想(親会社株主に帰属する当期純利益)に対する進捗率は53.6%となっています。



取り組みと概況

キャピタル損失の増加などにより経常利益が前中間期比200億円減少したものの、価格変動準備金の戻し入れ、有配当契約の減少に伴う契約者配当準備金繰入額の減少などにより、親会社株主に帰属する中間純利益は、前中間期比75億円増益の763億円となりました。当初の通期予想(親会社株主に帰属する当期純利益)930億円に対する進捗率は82.1%となり、第3四半期以降の見直しも考慮した結果、通期予想を1,340億円に上方修正しました。



連結決算ハイライト

連結損益計算書

(単位:億円)

科目	2019年 3月期中間 (2018年4月1日~ 2018年9月30日)	2020年 3月期中間 (2019年4月1日~ 2019年9月30日)
経常収益	62,731	59,693
郵便事業収益	12,896	12,861
銀行事業収益	9,644	9,091
生命保険事業収益	38,983	36,613
その他経常収益	1,207	1,127
経常費用	58,572	55,667
業務費	44,086	41,258
人件費	12,992	12,783
減価償却費	1,337	1,458
その他経常費用	156	165
経常利益	4,158	4,026
特別利益	14	348
特別損失	103	60
契約者配当準備金繰入額	634	545
税金等調整前中間純利益	3,435	3,768
法人税、住民税及び事業税	1,386	1,310
法人税等調整額	△ 441	△ 342
法人税等合計	945	967
中間純利益	2,490	2,800
非支配株主に帰属する中間純利益	252	434
親会社株主に帰属する中間純利益	2,237	2,365

連結貸借対照表

(単位:億円)

科目	2019年 3月期 (2019年3月31日)	2020年 3月期中間 (2019年9月30日)
資産の部	2,861,707	2,897,445
現金預け金	522,444	571,666
有価証券	1,956,471	1,929,369
貸出金	120,834	109,386
有形固定資産	31,550	32,590
無形固定資産	3,219	3,136
負債の部	2,713,820	2,741,197
貯金	1,796,258	1,803,111
保険契約準備金	670,937	657,672
賞与引当金	1,226	1,256
退職給付に係る負債	22,362	22,445
価格変動準備金	8,974	8,718
純資産の部	147,886	156,248
株主資本	106,035	106,639
その他の包括利益累計額 合計	26,899	28,743
非支配株主持分	14,951	20,865
負債及び純資産の部	2,861,707	2,897,445



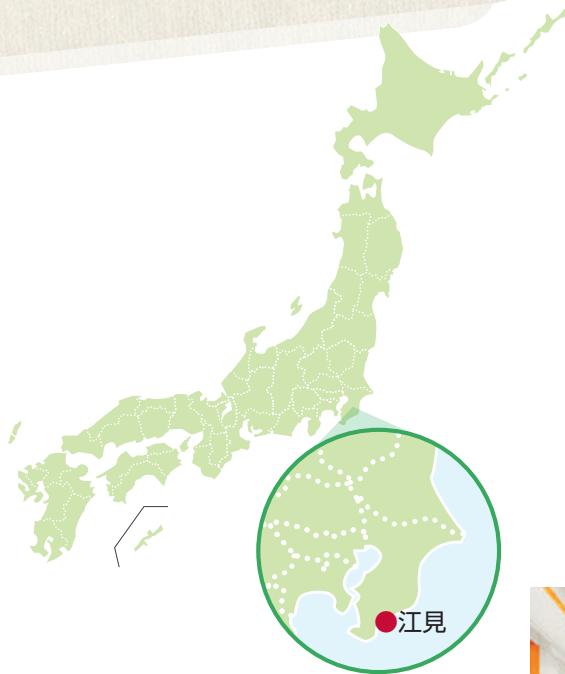
財務情報の詳細は当社HP
「株主・投資家のみなさまへ」
をご覧ください。

日本郵政 ▶ 株主・投資家のみなさまへ



あなたのそばで !! 「日本郵政」

2019年度上期に実施した価値創造の
新たな取り組みをご紹介します!!



日本全国の「地域社会」を支える

～地域のコミュニティを支えるサービス～

内房線江見駅で郵便局窓口業務と 駅窓口業務の一体運営を実施します

2019年8月、日本郵便と東日本旅客鉄道株式会社(以下「JR東日本」)は、現在無人駅となっている内房線江見駅(千葉県鴨川市)において、郵便局と駅の窓口業務の一体的な運営を初めて実施することを公表しました。

2社は2018年6月12日に締結した「日本郵便とJR東日本の地域・社会の活性化に関する協定」に基づいて、「郵便局と駅の機能連携」、「両社のネットワークを活用した物流」、「地域活性化施策」など様々な分野で連携の検討を行っています。

これからも日本郵便とJR東日本は互いに連携協力することにより、一層の地域・社会の活性化に貢献していきます。

2020年8月開局予定



概要

江見郵便局を江見駅の敷地内に移転、新たに駅と一体となった郵便局舎を建設します。

取扱業務

郵便局窓口業務の他、普通乗車券、定期券等の乗車券類および無記名式のSuicaの販売業務、精算業務、列車の発車時刻、運賃の案内業務等を行います。

価値創造の取り組みについては、
統合報告書もご覧ください。



人生100年時代の「一生」を支える

PUDO ステーションを利用した 「はこぼす」サービスの提供

日本郵便は、6月からPackcity Japan株式会社が運営するオープン型宅配便ロッカー「PUDO ステーション」のうち、首都圏の駅や駅周辺に設置された一部を「はこぼす」として利用し、ゆうパック等を受け取るこ



とができるサービスを開始しました。

人生100年時代の「一生」を支える

郵便局で「キャッシュレス決済」を 開始します

日本郵便は、2020年2月から全国65局の郵便窓口においてキャッシュレス決済を開始し、5月に約8,500局に拡大します。支払手段の拡充により、お客さま利便性の向上を図り、今後、さらに進展するキャッシュレス社会の実現に貢献します。

ご利用いただける決済種類・ブランドは幅広く対応し、切手の購入やゆうパックの差出しなどの際、クレジットカードや電子マネー、「ゆうちょPay」をはじめとするスマホ決済がご利用いただけ、郵便局でのお支払いが便利になります。



～利便性の高い配送サービス～

再配達削減の取り組み

日本郵便は、コンビニや「はこぼす」等受取拠点の拡充の他、LINEやメールによるお届け予定通知の拡充等により、再配達の削減に取り組んでいます。



さらには、時間を気にせず自宅で荷物等を受け取りたいというお客さまのニーズにお応えし、「置き配」の普及拡大にも取り組んでおり、8月下旬まで抽選で10万世帯のお客さまに、無料で置き配バッグを配布する「置き配体験モニターキャンペーン」を実施しました。

～生活に安心・便利な新しいサービス～

「ゆうちょPay」をご利用いただける 店舗が拡大中

“あんしん”&“べんり”な「ゆうちょPay」は、スマホがおサイフがわりになるスマホ決済アプリです。ゆうちょPayマークまたは銀行Payマークのある全てのお店でご利用いただけます。

ご利用いただけるお店は、全国約4万店(2019年10月1日時点)、ゆうちょ銀行の払込取扱票やコンビニ払込票での支払いにも利用でき、利用機会はますます広がっています。





今年も年賀特設サイト「郵便年賀.jp」を開設中！

「郵便年賀.jp」は、年賀に関する「知る」、「買う」、「つくる」、「送る」、「楽しむ」の機能を持つ特設サイトです。パソコンでもスマートフォンでもご利用できますので、一度覗いてみてください。来年の年賀状作成が、きっと楽しくなります。



ご利用いただけるサービスのほんの一部をご紹介します

「はがきデザインキット」

直感的な操作で、誰でも簡単に楽しくはがきが作れるウェブサービスで毎年ご好評をいただいております。クラウド上で住所録管理も可能です。



「手作り風はんこ作成ツール」

文字や写真から簡単に、手作り風のはんこデザインが作れます。写真やイラストに好きなセリフを入れれば、LINEのスタンプツールとしても使えます。



「住所がわからなくても送れるサービス」

相手の住所がわからなくても、ネットでつながっている友達に年賀状が送れます。自分の住所は書いても書かなくてもOKです。



喪中はお返しを受け取ったら...

11月から12月にかけて、喪中はお返しをお受け取りになる方もいらっしゃると思います。喪中はお返しを受け取られた方の「お悔やみの心を伝えたい」という気遣いの心を形にする、喪中見舞い向けの「お線香たより『翠麗(すいれい)』」をはじめとする郵便局オリジナル商品をご用意しています。「お線香たより『翠麗(すいれい)』」は、切手を貼って、そのまま送れる「お悔やみカード」と「お線香」(約50g×2箱)のセットです。

全国の郵便局で販売中

お線香たより「翠麗」



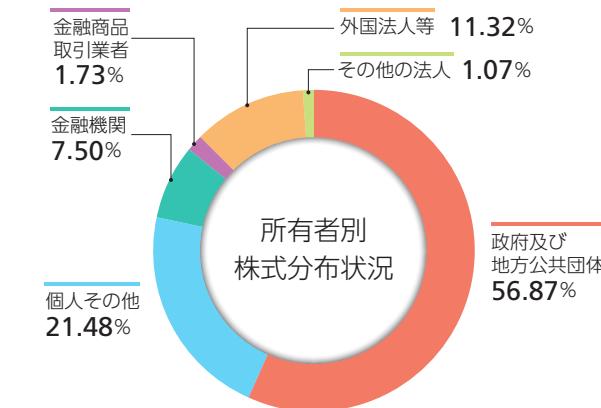
会社概要 / 株式の状況

会社概要

名称	日本郵政株式会社 (URL: https://www.japanpost.jp/)
本社所在地	〒100-8791 東京都千代田区大手町二丁目3番1号
資本金	3兆5,000億円
設立年月日	2006年1月23日
事業内容	グループの経営戦略策定

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	18,000,000千株
発行済株式総数	4,500,000千株
株主総数	623,801名



※自己名義株式の株式数は「個人その他」に含んでいます。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月(議決権の基準日 毎年3月31日)
配当金の基準日	毎年3月31日及び 中間配当を行うときは毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
証券コード	6178
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
1単元の株式数	100株

■ 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ

上記のお問い合わせ先	
お問い合わせ先	三井住友信託銀行株式会社
郵便物の送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話番号	日本郵政専用ダイヤル ☎ 0120-580-840 (フリーダイヤル) (受付時間 土曜日・日曜日・祝祭日を除く9時から17時)
インターネットホームページURL https://www.smb.jp/personal/agency/index.html	

■ 上記以外のお手続き、ご照会等は、口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

日本郵政グループ

女子陸上部

活動通信



FINISH



鈴木亜由子選手が 東京2020オリンピックへの出場権獲得!!

東京2020オリンピックでのご声援、よろしく申し上げます。



東京2020オリンピックへの
出場内定!

すずきあゆこ
鈴木亜由子選手



2019年9月15日に開催されたマラソングランドチャンピオンシップ(MGC)に、日本郵政グループ女子陸上部の鈴木亜由子選手が出場し、2時間29分02秒の2位で東京2020オリンピック女子マラソン出場権を獲得しました!

日本郵政グループ女子陸上部は、2019年11月24日開催の「全日本実業団対抗女子駅伝競走大会(クイーンズ駅伝)」に出場。チーム一丸となって全力で仙台を駆け抜けました。引き続きのご声援をよろしくお願いいたします。



クイーンズ駅伝に出場!

(後列左から)大西ひかり(おおにし ひかり)、菅田雅香(すがた みやか)、樽本知夏(たるもと ちなつ)、宇都宮恵理(うつのみや えり)、廣中璃梨佳(ひろなか りりか)、高橋明日香(たかはし あすか)
(前列左から)太田琴菜(おおた ことな)、鈴木亜由子(すずき あゆこ)、鍋島莉奈(なべしま りな)、関根花観(せきね はなみ)、林英麻(はやし えま)

 日本郵政

日本郵政株式会社
〒100-8791 東京都千代田区大手町二丁目3番1号
TEL 03-3477-0111(日本郵政グループ代表番号)

 UD
FONT

 VEGETABLE
OIL INK

 ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080